

橋の名付け親プロジェクト

○道から橋へ、造るから守へ

- ・平田村での協働による道づくりように、行政と住民で協力し、住民自らが課題を解決するというスキームを道から橋へ、造るから守るへ発展し、**住民自ら橋を守る仕組みを構築したい**

○橋に興味関心を示す住民は少ない

- ・急に住民に「地域の橋の維持管理をお願いします」と伝えても、難色を示すことが容易に想像できる

○住民の橋への興味関心を高めるための橋の名付け親プロジェクト

- ・番号橋に対し小学生に名前を付けてもらうプロジェクトを提案
- ・これから村の将来を担い、長く地域に関わっていくであろう平田村の小学生に名付け親になってもらうことで、長く地域に愛される橋に
- ・小学生が名付けた橋であれば、親や祖父母世代からの愛着も一入で、**地域で橋を守る活動に繋がるのでは**

○蓬田小学校には33号橋に「きずな橋」、小平小学校には72号橋に「あゆみ橋」

きずな橋は平田村村民の絆を、あゆみ橋はこれまでそしてこれからの平田村の歩みを表している

●道の駅ひらたにて橋の命名式が開催



●それぞれに橋名板が設置

72号橋



33号橋

